

阿蘇中央病院事業 中期経営計画
達成状況中間報告

平成20年5月

【内容】

1,達成状況の中間報告

少子高齢化、市町村財政の悪化、情報課の進展、環境に対する関心の高まり等社会情勢が大きく変化する中で行政に対する市民ニーズは高度化、多様化の傾向にあります。

このような状況の中、阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病院事業においても、経営状況は厳しく、医師不足平成20年度の診療報酬の改正等でさらに厳しい状況であり、今後の公立病院としての方向性を早急に決定して、患者様への安心・安全の医療を提供できるように努めてまいります。

平成18年3月に策定した阿蘇市阿蘇中央病院事業中期経営計画に基づき、経営内容の改善に向けて取り組んできました結果を中間報告します。

2,中期経営計画における事業経営の基本方針

(1) 展開する方向性

- ・ 医療に対する多様なニーズに応え、適切な医療サービスが受けられるよう医療機関相互の機能分担連携強化に努め、地域医療の充実を図ります。
- ・ 救急医療、リハビリ、健診部門等専門分野の確立、病床の見直し等を図り抜本的な機能や体制の充実を図っていきます。

また、地域中核病院としての機能を向上させるために、移転新築を検討し施設・医療機器の充実を図り住民のニーズに応じていきます。

(2) 展開する施策

- ・ 住民ニーズの高度化・複雑化が進むなか、一次医療・二次医療の機能分担を明確化し、より安全で安心な医療サービスが受けられる体制の充実を図ります。
- ・ 健やかで安心な暮らしを創造するため保険、福祉との連携を強化し、健康相談や健康診断、介護支援など多様な住民ニーズへの対応を進めます。
- ・ 市立病院の二次救急医療体制の充実を図るとともに、地域医療期間との連携を強化し、救急医療のあり方について研究、検討を進める等、住民に信頼される診療体制を確立します。

また、建設検討委員会（仮称）を設置し、施設の改善に向けて検討して行くとともに、医療機器の整備や患者への適切な診療情報の提供、医療相談機能の充実を進めます。

- ・ 地域中核病院としての役割を果たすために、市内に不足している診療科の充実、専門分野の確立を検討し医療サービスの充実を図り、経費削減のためアウトソーシング等を検討し、経営の改善に努めます。
- ・ 常勤医師確保のため民間の派遣会社等を活用する等の努力を行い、医療従事者の確保に努めます。また、小児科におきましても早急に常勤医師を確保し、阿蘇地域をカバーする小児医療体制を目指します。

(2) 計画の位置付け

中期経営計画は、病院事業の阿蘇市集中改革プランとして、平成17年度から平成21年度までの具体的な取組目標を設定し、着実に推進するために策定するものであります。

(3) 計画の策定期間

開始年度	終了年度
平成 17 年度	平成 21 年度

(4) 財政運営の目標

- ・ 診療報酬の改正等、今後、公的病院を取巻く状況が厳しくなる中、平成 13 年度以降続いている経常損失を経費削減等を模索し、最小限に抑えるよう努力していきます。

- ・ 目標とするサービス水準や顧客満足度

当院では、アンケート箱を設置し、患者さんの意見を聞いていますが、設備や職員への不満が多いが、設備面では建替えを考えて最小限で行なっている。また、接遇面では、院内研修等をおこなって改善に努めています。

3、事業計画とその達成状況

① 収益的収支及び資本的収支

(1) 収益的収入

		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度
		計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	計画
収益的 収入	医業収益	1,133,785	1,174,162	1,144,700	1,108,575	1,145,800	1,127,286	1,146,500	1,166,500
	医業外収益	8,413	10,321	8,450	8,961	8,700	9,725	9,000	9,200
	他会計補助金等	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	(内基準内繰出)	(54,000)	(70,684)	(55,000)	(98,542)	(56,000)	(100,000)	(57,000)	(58,000)
	(内基準外繰出)	(46,000)	(29,316)	(45,000)	(1,458)	(44,000)	(0)	(43,000)	(42,000)
収入合計…(A)		1,242,198	1,284,483	1,253,150	1,217,536	1,254,500	1,237,011	1,255,500	1,275,700

説明 患者数の減少に伴いました、常勤医師 6 名体制での医業収益の増収が厳しい状況である。

(2) 収益的支出

		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度
		計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	計画
収益的 支出	人件費	809,799	820,465	849,000	836,261	847,000	824,478	846,000	859,000
	材料費	232,873	232,549	196,800	172,657	195,200	184,437	194,500	193,500
	その他経費等	262,283	299,216	259,000	293,404	258,100	298,726	257,000	255,800
	支出合計…(B)	1,304,955	1,352,230	1,304,800	1,302,322	1,300,300	1,307,641	1,297,500	1,308,300

説明 平成 19 年度・特殊勤務手当の削減を行なって、人件費の減に努めた。

経常損益… (A) - (B)	62,757	△67,747	△51,650	△84,786	△45,800	△70,630	△42,000	△32,600
-----------------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(3) 資本的収入

		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度
		計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	計画
資本的 収入	企業債	0	0	0	0	0	0	0	0
	国・県補助金	14,525	14,525	2,625	2,625	2,625	0	0	2,625
	他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(内基準内繰出)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(内基準外繰出)	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計…(A)		14,525	14,525	2,625	2,625	2,625	0	0	0

(4) 資本的支出

		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度
		計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	計画
資本的 支出	建設改良費	47,829	44,147	27,640	27,621	20,000	16,964	17,000	20,000
	企業債償還金	26,980	26,980	29,041	29,041	31,260	31,260	33,648	36,219
	支出合計…(B)	74,809	71,127	56,681	56,662	51,260	48,224	50,648	56,219

収入－支出… (A) － (B)	△60,284	△56,602	△54,056	△54,037	△48,635	△48,224	△50,648	△53,594
------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

説明 資本的収入額が支出額に不足する額は、当年度分損益勘定留保資金等で補填している。

②企業債残高

		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度
		計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	計画
元金総額(すべて公的資金)		189,750	189,751	160,709	160,710	129,449	129,450	95,801	59,582

説明 起債の繰上げ償還について、検討しましたが2年間の起債申請ができなくなることを考慮して、計画的償還を行なっている。

③ 定員管理に関する計画

	平成 17 年度 (計画)			平成 17 年度(決算)			平成 18 年度(計画)			平成 18 年度(決算)		
	年度当初	年度内採用者及び 退者	年度末	年度当初	年度内採用者及び 退者	年度末	年度当初	年度内採用者及び 退者	年度末	年度当初	年度内採用者及び 退者	年度末
医師	6	採用 0 退職 1	5	6	採用 0 退職 1	5	7	採用 2 退職 1	6	7	採用 2 退職 3	5
薬剤師	4	採用 0 退職 0	4	4	採用 0 退職 0	4	4	採用 0 退職 0	4	4	採用 0 退職 0	4
放射線技師	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3
臨床検査技師	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3
臨床工学士	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2
栄養士	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2
理学療法士	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	3	採用 1 退職 0	3	2	採用 1 退職 0	3
看護師	3 5	採用 4 退職 4	3 5	3 5	採用 4 退職 4	3 5	4 1	採用 6 退職 0	4 1	3 5	採用 6 退職 0	4 1
准看護師	2 3	採用 0 退職 1	2 2	2 3	採用 0 退職 1	2 2	2 2	採用 0 退職 2	2 0	2 2	採用 0 退職 2	2 0
事務員	8	採用 0 退職 1	7	8	採用 0 退職 1	7	8	採用 1 退職 0	8	8	採用 1 退職 0	8
労務員	1	採用 0 退職 0	1	1	採用 0 退職 0	1	1	採用 0 退職 0	1	1	採用 0 退職 0	1
	8 9		8 6	8 9		8 6	9 6		9 3	8 9		9 2

	平成 19 年度(計画)			平成 19 年度(決算)			平成 20 年度(計画)			平成 21 年度(計画)		
	年度当初	年度内採 用者及び 退者	年度末	年度当初	年度内採 用者及び 退者	年度末	年度当初	年度内採 用者及び 退者	年度末	年度当初	年度内採 用者及び 退者	年度末
医 師	7	採用 1 退職 1	6	7	採用 2 退職 1	6	7	採用 1 退職 1	6	8	採用 2 退職 0	8
薬剤師	4	採用 0 退職 0	4	4	採用 0 退職 0	4	4	採用 0 退職 0	4	4	採用 0 退職 0	4
放射線技師	3	採用 0 退職 1	2	3	採用 0 退職 1	2	3	採用 1 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3
臨床検査技師	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 1	2
臨床工学士	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2
栄養士	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2	2	採用 0 退職 0	2
理学療法士	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3	3	採用 0 退職 0	3
看護師	4 3	採用 2 退職 0	4 3	4 3	採用 0 退職 2	4 1	4 3	採用 0 退職 0	4 3	4 4	採用 1 退職 0	4 4
准看護師	2 0	採用 0 退職 0	2 0	2 0	採用 0 退職 1	1 9	2 0	採用 0 退職 1	1 9	1 9	採用 0 退職 4	1 5
事務員	8	採用 0 退職 0	8	8	採用 0 退職 0	8	8	採用 0 退職 0	8	8	採用 0 退職 0	8
労務員	1	採用 0 退職 0	1	1	採用 0 退職 0	1	1	採用 0 退職 0	1	1	採用 0 退職 0	1
	9 6		9 4	9 6		9 1	9 6		9 4	9 7		9 2

職員の定数については、現在の3病棟体制で、医師以外については医療法の基準内での人員での対応を行なっている。また、外来看護師については、臨時・嘱託での雇用を行なっているが雇用が厳しい状況である。

④ 中間指標

	平成17年度 (計画)	平成17年度 (決算)	平成18年度 (計画)	平成18年度 (決算)	平成19年度 (計画)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (計画)	平成21年度 (計画)
不良債務比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累積欠損金比率 (%)	△5.0	△5.0	△4.1	△5.0	△3.7	△5.0	△3.3	△2.6
繰入金比率 (%)	8.0	7.9	8.0	8.2	8.0	8.1	7.9	7.8
苦情受付件数 (件)	40	—	35	—	30	—	25	20
医療事故件数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤ 給与の適正化に関する計画

- ・ 病院の特殊勤務手当について、医療業務従事者の特殊性はあるが本院が経営状況は厳しいので経営状況が回復まで削減を行なう。(平成19年度より実施)

⑥ 将来需要予測

入院

(単位 人)

	平成17年度 (計画)	平成17年度 (決算)	平成18年度 (計画)	平成18年度 (決算)	平成19年度 (計画)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (計画)	平成21年度 (計画)
年延入院患者数	36,540	36,613	36,600	36,218	36,660	33,684	36,730	36,800
一日平均患者数	100.1	100.3	100.2	99.2	100.4	92.0	100.6	100.8

外来

(単位 人)

	平成17年度 (計画)	平成17年度 (決算)	平成18年度 (計画)	平成18年度 (決算)	平成19年度 (計画)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (計画)	平成21年度 (計画)
年延外来患者数	41,430	41,709	41,986	39,510	42,485	40,843	43,100	43,686
一日平均患者数	141.4	141.4	143.3	134.4	145.0	137.1	147.1	149.1

⑦ 設備投資計画

(単位 千円)

	平成17年度 (計画)	平成17年度 (決算)	平成18年度 (計画)	平成18年度 (決算)	平成19年度 (計画)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (計画)	平成21年度 (計画)
医療機器等整備事業	32,000	32,356	14,290	19,180	13,000	16,118	12,000	13,000
老朽化設備整備事業	10,923	11,792	9,350	8,441	7,000	846	5,000	7,000

4. 経営基盤強化への取組

(1)、経営改革の取組み

資産の有効活用方策

医師住宅の空家を市民に賃借する事を計画しているが、建物が老朽化していて借家として賃貸するには

改修が必要で有り、経費的にも厳しい状況である。また、医師から、医師住宅の建替えの要望もあるが、現在病院建替えの計画があり、当分の期間は民間のアパート等を借りるかについて、今後十分検討して対応する。

民間委託の導入

現在、給食・医療事務・看護補助等については、すでに民間委託をおこなっている。他の部門での委託について、検討中である。

(2)、人材育成への取組

平成19年度より、院内再生委員会を設立し、職員自ら4グループ（接遇・研修・環境・広報）毎月1回のグループ会議・再生委員会を実施して、グループ別に職員で出来ること（院内草取り、院内広報・院内ペンキ塗り・接遇研修・職員研修等）で職員の意識改革を実施し、効果も出てきている。

5. 経費節減等の取組による効果額

収入では、医療費改正及び常勤医師の確保が厳しく、入院・外来患者の増加が図れないため増収が困難な状況である。支出においては、特殊勤務手当見直しにより、720万程度削減される見込みです。

また、経費（電気・水道・消耗品）についても、節約してさらなる削減に努めていきます。

6. 環境保全状況等への取組

現在の施設にて、対応可能な所については取り組んでいます。建物の構造上対応できないこともあり、十分なバリアフリー整備ができない状況です。

7. 計画達成状況の取組

(1) 最終報告の公表時期 平成22年5月

(2) 公表方法

阿蘇市ホームページへの掲載により公表します。